

# コンパクトクールキット 取扱説明書

(フレーム下マウント)

適応車種	モンキー (FI) (AB27-1900001 ~)
対象条件	弊社製オイル取り出しボス付きボアアップシリンダー装着車

◎スリムラインホース	
対象シリンダー	弊社製オイル取り出しボス付きボアアップシリンダー
オイルクーラー本体固定場所 フレーム下マウント	
製品番号	07-07-0004 (4フィン)
	07-07-0207 (3フィン)

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種の車両専用です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎アルマイト製品は経年変化等により、色褪せる事があります。予めご了承下さい。
- ◎オイル量は通常規定オイル量に4フィン：約60cc / 3フィン：約40cc追加して下さい。
- ◎ダイカストスペシャルクラッチカバーが組み付けされている車両で、シリンダーからオイル取り出しする場合はダイカストスペシャルクラッチカバーにはオイルホールプラグ及びサーモユニットを取り付けしないで下さい。何れかを取り付けた状態で、エンジンを始動した場合オイル通路が遮断され、エンジンを破損する可能性があります。
- ◎取り付けにはフレームに溶接されているハーネス用リングを曲げるか切り取りが必要でです。
- ◎弊社製ノーマル/Rステージヘッド用Zスタイルヘッドカバーを装着した場合、タペットキャップブリーザーはオイルクーラーと干渉する為、同時装着しないで下さい。
- ◎弊社製ステアリングダンパーは同時装着出来ません。

～特徴～

冷却効果に優れたコンパクトクールを取り付ける事で、エンジンボアアップに伴う油温上昇を抑える事が出来ます。  
コンパクトクール本体は、オイルクーラープレート、ガードを標準装備。  
付属のオイルクーラーステーを使用し、フレーム下マウントでオイルクーラー本体を固定します。  
クーラー本体は3フィン4オイルラインと、4フィン5オイルラインの2種類からお選び頂けます。  
オイルクーラーへのオイル取り出しは、弊社製オイル取り出しボス付きシリンダーからオイルの取り出しが行えます。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- 作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。(部品の脱落の原因となります。)
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。又、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- 走行前には必ずエンジンオイルが循環している事を確認してから走行して下さい。(エンジン損傷の原因となります。)

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)

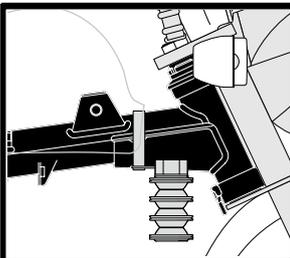
- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

製品内容：部品の詳細は各キットの説明書、及び製品ラベルでご確認下さい。

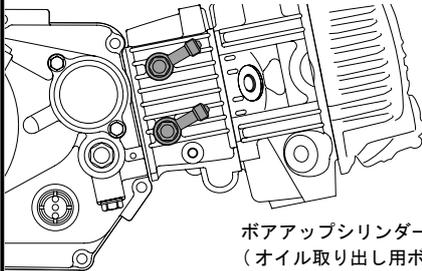
オイルクーラー取付け場所：フレーム下マウント

製品名 / キット品番

コンパクトクーリングキット (スリムラインホース)  
 (ボアアップシリンダー  
 (オイル取り出し用ボス付) 装着車両)  
 4フィン 07-07-0004    3フィン 07-07-0207

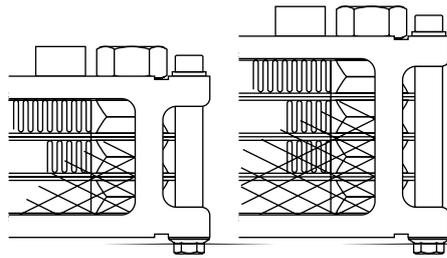


オイル取り出し口



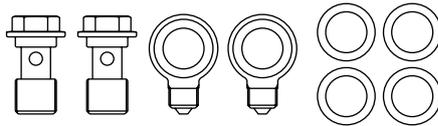
ボアアップシリンダー  
 (オイル取り出し用ボス付)

オイルクーラー本体



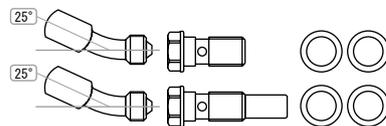
コンパクトクーリング    コンパクトクーリング  
 3フィン (00-07-0124)    4フィン (00-07-0104)

バンジョー  
 フィッティング  
 (オイルクーラー側)



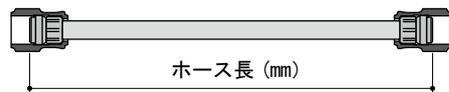
バンジョーセット  
 (M12/スリムライン用) (00-07-0135)

バンジョー  
 フィッティング  
 (取り出し口側)



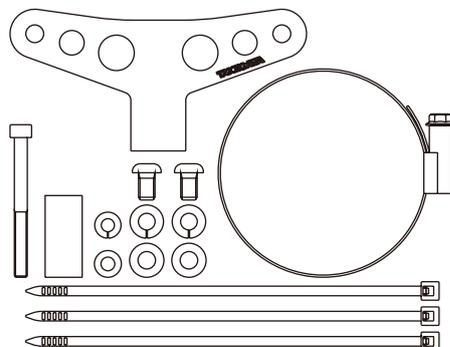
フィッティングセット  
 (M10/スリムライン用) (00-07-0128)

ホース (ホース長)



スリムラインホース 250mm (00-07-0109)  
 スリムラインホース 310mm (00-07-0111)

ステーセット



オイルクーラーステーキット (00-07-0119)

カラー / ボルトセット



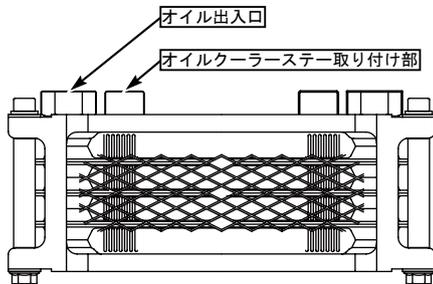
(00-00-2844)

## ■対象製品 コンパクトクールキット フレーム下マウント

対象シリンダー 弊社製オイル取り出しボス付きポアアップシリンダー

### ■オイルクーラー本体 オイル出入口の方向と組み付け

■オイルクーラーのオイル出入口の方向を確認  
下図のようにオイルクーラスター取り付け部  
とオイル出入口が上になっているか確認しま  
す。(弊社出荷時は下図の様になっています)



■バンジョー、バンジョーボルトの組み付け  
オイルクーラー本体のオイル出入口に下図 A  
の順(シーリングワッシャ、バンジョー、シー  
リングワッシャ、バンジョーボルト)で仮止  
めします。

⚠注意 オイル出入口にはズレ防止用の溝がありま  
す。(下図 B) この溝にシーリングワッシャ  
を確実に収めて下さい。  
溝に収めていない状態で、組み付けるとオ  
イル漏れの原因となります。

図 A

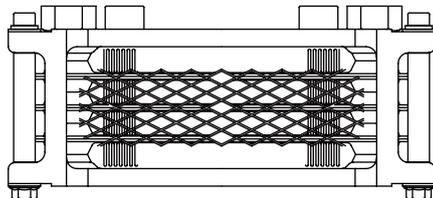
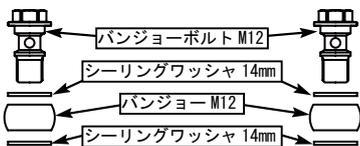
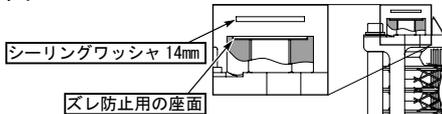


図 B (座面断面図)



ズレ防止用の座面にシーリングワッシャ  
を確実に収める

■バンジョーボルトのトルク締めについて  
オイル取り出し口とホースを接続し、ホースの  
取り回し確定後に規定トルク締めを行います。  
バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイル  
クーラーヘッドにスパナ等を掛けて締め  
付けて下さい。

⚠注意: 必ず規定トルクを守る事。

バンジョーボルト M12  
トルク: 22.5N・m (2.3kgf・m)

### ■オイルクーラスターとオイルクーラー本体の組み付け

■オイルクーラスターをフレームに固定する際  
車両によりパーツの仕様変更が必要です。  
平坦で足場のしっかりした場所で車両を安定  
させます。車両のサービスマニュアルを参照し、  
シート及びフューエルタンクを取り外します。

★モンキー (FI) の場合

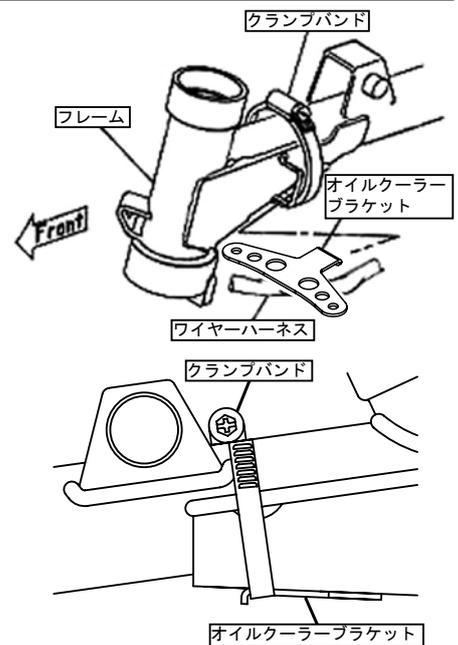
■ノーマルフロントフォークに当製品を取り  
付ける場合、ノーマル状態ではオイルクーラー  
とブレーキワイヤーが干渉します。  
下記の写真を参考にし、ノーマルのケーブ  
ルステーを取り外し、製品付属の結束バンド  
150mm を使用しケーブルを取り付けて下さい。



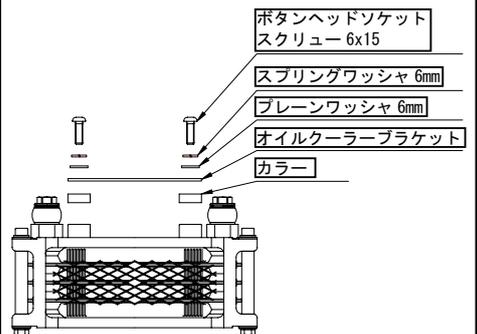
■ノーマルフロントフォーク車両の場合  
ハンドルの切れ角が大きい為、オイルクーラー  
とステアリングロックが干渉する場合がございます。  
その際は、オイルクーラーブラケットの1番  
大きな穴にクランプバンドを通してフレーム  
に取り付ける事でクリアランスを確保して下さい。  
(フレームの平らな場所の後端よりも後ろに  
取り付けます。)



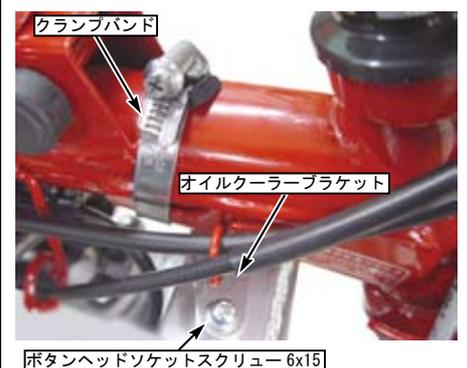
■付属のオイルクーラーブラケットをフレーム  
裏側の平らな部分に当て(ブラケット端部が  
曲がっている部分を下に向け、フレームの  
平らな場所の後端に当てるようにします。)ク  
ランプバンドでフレームとオイルクーラー  
ブラケットを固定します。この時、クランプ  
バンドのネジ部分をタンクの下に隠れるよ  
うに、フレームの上側に固定して下さい。  
(この時、ワイヤーとハーネスはオイルクーラー  
ブラケットの下になる様に取り回して下さい。)



■オイルクーラー本体の取り付け  
オイルクーラーブラケットにオイルクーラー  
本体をボタンヘッドソケットスクリュー 6x15、  
スプリングワッシャ 6mm、ブレンワッシャ  
6mm、オイルクーラーブラケット、カラーの順  
にオイルクーラー本体を固定します。  
この時、ワイヤーハーネス及びノーマルクラ  
ッチケーブルがオイルクーラーブラケットと  
オイルクーラーの間を通るようにして下さい。  
また、オイルクーラー部分が前から見て水平  
で、横から見て垂直になっている事を確認し、  
クランプバンドのネジを締め付けます。歪ん  
でいる場合は、オイルクーラー本体を持って  
ゆっくり動かして調整し、締め付けて下さい。



⚠注意: 必ず規定トルクを守る事。  
ボタンヘッドソケットスクリュー  
トルク: 10N・m (1.0kgf・m)



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

■対象製品 コンパクトクールキット（スリムラインホース） 4フィン 07-07-0004 3フィン 07-07-0207

対象シリンダー 弊社製オイル取り出しボス付きボアアップシリンダー

### ■シリンダーにバンジョー / フィッティングの組み付け

■シリンダーサイドにあるオイルプラグ 2 個を取り外します。  
シリンダー下にオイル受け皿を設け、オイルプラグボルト 2 本を取り外します。

※ボルトを取り外した際、オイルが漏れ出す可能性があります。

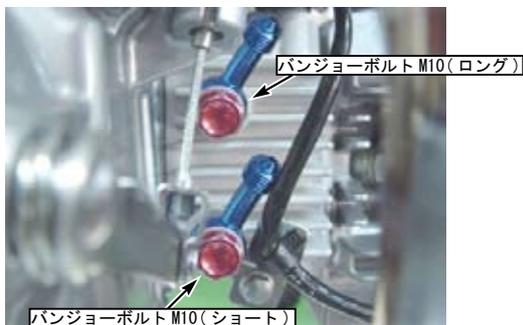
#### ■シリンダーにバンジョー / フィッティングの組み付け

写真を参考にし、バンジョー M10 (25°) をシーリングワッシャ 10mm で挟みバンジョーボルト M10 (ショート / ロング) を指定箇所に締め付けます。

※ホース等の取り回しを決めた後にバンジョーボルト M10 (ショート / ロング) を規定トルクで締め込みます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
バンジョーボルト M10 (ロング / ショート)  
トルク：15N・m (1.5kgf・m)

※アップマフラーが装着されている場合は、マフラーを取り外し作業を行って下さい。



### ■スリムラインホースの組み付け

■オイルクーラー本体とオイル取り出し口をスリムラインホースで接続します。

#### ■シリンダー側

バンジョー M10 上側 (ロング / 25°) にオイルホース 310mm を取り付け締め付けます。

バンジョー M10 下側 (ショート / 25°) にオイルホース 250mm を取り付け締め付けます。

#### ■オイルクーラー側

オイルホース 250mm をオイルクーラー右側にオイルホース 310mm を左側に取り付け、締め付けます。

マフラーの取り外しをした場合は取り扱い説明書に従い取り付けを行って下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
スリムラインホース (フィッティング)  
トルク：6N・m (0.6kgf・m)

バンジョー M12 の向きを調整し、バンジョーボルト M12x1.0 を締め付けます。

バンジョーボルト締め付け時は、必ずオイルクーラーヘッダーにスパナ等を掛けて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
バンジョーボルト M12  
トルク：22.5N・m (2.3kgf・m)

#### ■各部の緩みがないかチェックします。

ホースを束ねる必要がある場合は、付属の結束バンドをご使用下さい。

#### ■各部のチェックとノーマル部品の取り付け

車両のサービスマニュアルを参照し、シート及びびューエルタンクを取り付けします。

#### ■オイル量の調整とエンジン始動

4 フィンは 60cc、3 フィンは 40cc 程度エンジンオイルを追加し、エンジンを始動します。

各部にオイル漏れが無い事を確認しエンジンを止め、約 1 分後オイルレベルゲージで基準範囲内にあるかを確認します。少ない場合は補充します。

▲注意：弊社製ダイカストクラッチカバーが装着されている車両で、サーモスタットユニット (02-01-5052) 又は、ホールプラグ (00-02-0391) は取り付けしないで下さい。何れかを取り付けた状態でエンジンを始動した場合、オイル通路が遮断され、エンジンを破損する可能性があります。